

新・行財政改革実行プランについての事前質問及び回答

●指標の設定やわかりづらさについて

・出資団体改革の推進	2ページ
・総人件費の縮減	4ページ
・土地開発公社のあり方	7ページ
・市民が利用しやすい新庁舎建設	8ページ
・情報公開の積極的な推進	11ページ
・介護保険料の収納率向上	13ページ
・地域包括ケアシステムの構築	16ページ

●指標や目標値の設定がないことについて

・職員のやる気、モチベーション	3ページ
・公共施設の管理及び業務支援	5ページ

●指標の目標値について

・公有財産の有効活用	6ページ
・福祉窓口業務及び相談機能の充実	15ページ
・将来にわたる健全経営の推進	20ページ

●目標達成への取組について

・地域コミュニティ拠点施設のあり方の検討	9ページ
・民間主導によるイベント誘致からなる新たな観光誘客	17ページ

●指標の実績に関する分析や傾向と対策について

・市民及び来庁者の利便性向上に向けた市民窓口センターの業務改善	10ページ
・文化資産等を活用した「郷土愛あふれるふじさわ」の実現	12ページ
・藤沢市立学校教職員の不祥事の防止	18ページ
・いじめや不登校等、様々な悩みを抱える児童生徒への相談体制の充実	19ページ

新・行財政改革実行プランについての事前質問及び回答

課題名	全庁課題 市民アンケート（11ページ）
項目	おもてなし向上、身だしなみ(市民窓口センター)
質問 ・ 意見	<p>市民アンケートで毎年数字が出るが、率の上下はあまり問題ではないが、職員はこの今年の結果をどのようにとらえているか知りたい。</p> <p>夏の暑い時期のアンケート結果なら仕方がないと思うが、他の窓口と比べると低い。</p>
回答 ・ 考え方	<p>市民窓口センター 顧客満足度調査(おもてなし向上アンケート) 実施期間 H27年6月1日～30日(22日間) 件数 757件(一日平均34.4件)</p> <p>来庁者へ不快感を与えることのない公務にふさわしい身だしなみについては、一年を通じて「執務における服装基準」に基づき毎週月曜日に職員に周知・チェックを行っており、今回のクールビズの期間の実施結果については、さらに意識を持つよう課内会議にて周知・徹底を図りました。</p>

新・行財政改革実行プランについての事前質問及び回答

課題名	出資団体改革の推進（27ページ）
項目	指標
質問 ・ 意見	<p>当課題の指標として“自主財源比率”があげられている意味は？ 実績値はH25→H27で、下がっていることの分析・評価がされていません。 基準値を下回り、かつ下がっていることについて要説明</p>
回答 ・ 考え方	<p>1 当課題の指標として、“自主財源比率”が挙げられている理由は？</p> <p>藤沢市第二次出資団体改革では、それぞれの団体への市の関与を縮小し、より一層の自立した団体運営が図られることを目標とし、経営基盤の確立と人的・財政的自立を促進していくこととしています。</p> <p>目指している自立は多角的なものであるため、数値化した指標を設定することが難しい側面もありますが、市からの財政面での自立度合いを見るための一つの目安として、自主財源比率（各団体の総収入に占める市支出金以外の割合）を掲げることとしております。</p> <p>出資団体は、行政の補完的役割を果たす目的で設置された経緯があり、団体の基幹業務としては、市施策の展開にあります。そのため、この自主財源比率は、行政の役割が増大すると、その事業の担い手として出資団体の業務が拡大するなど、行政需要により変動する要素が大きいものです。例えば、子ども子育て新制度施行に伴い、児童クラブ事業が拡大されましたが、その事業の担い手として出資団体の事業が拡大し、結果として自主財源比率が低下することになります。</p> <p>したがって、この自主財源比率は、目標を定めて、そこをめざしていくということよりも、その状況や傾向を捉えるものとして、また、各出資団体に向けては、財政的な自立に向けての方向性や動機づけを図るものとして設定しています。このような考えのもと、それぞれの団体では、自主収益事業の拡大に向けてプロジェクト等を設置し検討を進めており、例えば興業公社では、遺品の整理など業務範囲の拡大などを行っております。しかしながら、出資団体全般で言えば、市の出資団体としての性格や公益財団法人としての収益事業の制限の中で、また、新規事業に伴うリスクも勘案すると、現実的には難しい状況もあります。</p> <p>2 実績値はH25→H27で、下がっていることの分析・評価がされていません。基準値を下回り、かつ下がっていることについて要説明</p> <p>自主財源比率は、団体の比率の平均値であるため、特定の団体が大きく増減すると、その数値は全体に影響を与えることとなります。そのため、団体の個々の値が重要であり、付記に個別の団体の数値を記載しています。</p> <p>平成25年度から平成26年度は決算ベースの値になりますが0.6%下がっております。団体の内訳でみると、湘南産業振興財団が、平成26年度に藤沢産業センター事業廃止に伴い、自主事業の柱であった貸館事業を廃止したことにより、平成25年度68.5%から平成26年度46.6%に21.9%下がり、これだけで、全体を3.1%押し下げることになっています。他団体でいえば、前年度との比較で言えば、横ばい、ないしは若干の上昇をしていることから、湘南産業振興財団の数値の影響が大きく出ているものです。</p> <p>平成27年度は、予算ベースのものであり、団体の予算の設計上、市からの事業収入は安定的収入として予算計上をしており、一方で、市以外からの収入は、低めに見積もっているものと考えられます（平成26年度は予算ベース40.8%であったものが決算ベースで41.5%）。そのため、予算と決算で単純な比較はできませんが、平成25年度決算と平成27年度予算を比較して、自主財源比率が下がっている団体は、みらい創造財団と湘南産業振興財団であり、みらい創造財団は△0.7%、湘南産業振興財団は△17.3%であり、みらい創造財団で言えば児童クラブ事業の拡大、湘南産業振興財団は産業センター廃止に伴うものが大きいものです。</p>

新・行財政改革実行プランについての事前質問及び回答

課題名	職員のやる気、モチベーションの向上（33ページ）
項目	指標
質問 ・ 意見	<p>実績値が上昇していることはよしであろうが、50%前後という数値についての評価は？直観的に低いと思います。80%程度が目標なのではないでしょうか？</p> <p>ただし、職員のみなさんが、目標値を設定し、そのためにすべきことは何かを考えることが必要と思います。たんに全国標準と比較して、よいとしているのでは、藤沢市の姿勢も感じられないし、職員自らが設定した目標とはいえず、行財政改革の意図を達成する道程とはなっていないと思います。</p>
回答 ・ 考え方	<p>目安であって、目標としては捉えておりません。職場の健康度(職員メンタルヘルス調査より)の指標については、標準偏差値50(偏差値は、委託業者が保有する70万人以上のデータから、日本の産業構造にあう形で無作為にサンプリングした120社1,000人の結果を利用した一般平均をもとに算定)を利用しています。</p> <p>また、もう一つの指標である「風通しの良い職場」についても、特に目標値は定めておりませんが、指標に設定している「市役所全体の風通し」については全職員(臨時職員や出先職場を含む)に対して調査したもので、良いと「感じている」「概ね感じている」が55.5%となっております。「感じていない」「あまり感じていない」44.5%で、理由として「部門間の連携が不足している」24%、「情報共有が不足している」19.5%が高位となっております。また、これを補足する質問として、風通しの良さに繋がっていないと感じているようです。全体としては、このような結果ですが、次に「あなたの職場の風通しの良さ」について質問したところ、肯定的に捉えている割合が79.6%となり、課内や担当内といった単位では、風通しの良さは感じていて、部門間の連携が不足していると感じているものと捉えております。今後は、指標の付記に、参考として「職場の風通し」について、記載していきたいと思えます。</p>

新・行財政改革実行プランについての事前質問及び回答

課題名	総人件費の縮減（39ページ）
項目	指標
質問 ・ 意見	<p>付記 5%相当額を目標合計数値とする。“目標合計数値”とは？H25からH29の削減合計額でしょうか？とすれば、その表記が必要。H24年度の実績を含むという意味が不明。目標と実績が同期間である必要があります。</p> <p>内容</p>
回答 ・ 考え方	<p>取組概要:平成22年度決算人件費の5%に相当する17億円の削減を目指す。</p> <p>現首長の任期中(平成24年2月から平成28年2月まで)に取り組む事としています。よって「合計欄には平成24年度給料削減実績額の145,000千円を含む。」ことから24年度から27年度までの実績で表現しています。</p>

新・行財政改革実行プランについての事前質問及び回答

課題名	公共施設の管理及び業務支援（43ページ）
項目	指標
質問 ・ 意見	<p>指標がありません。管理および業務支援とありますが、基準は何？現状の数字が必要。これからシステムの運用開始とのことですが、指標とは運用開始後何件したではなく、現状の何が問題で、その問題を解決するためにシステムを導入するので、システム導入前の課題数値があって、いくつ解決することを目標とし、実績はいくつとすることが必要。至急、現問題点を数値にて記載願います。</p>
回答 ・ 考え方	<p>当課題の現状は、課題概要や取組概要の域を出ず、土台整備の段階にあります。よって、課題全体の進捗としては、当初の計画どおりには進んでおらず、その理由としては、公共施設の予防保全に向けた検証に時間を要しており、今年度、中間見直しということで、計画の見直しを図ったところです。成果指標の設定については、平成28年度からモデル施設による検証の取組を進め、その後、平成30年度を目安に指標の設定を行いたいと考えております。</p>

新・行財政改革実行プランについての事前質問及び回答

課題名	公有財産の有効活用（47ページ）
項目	実施スケジュール・指標
質問 ・ 意見	<p>P48の表が不思議。計画に記載なく、実績に記載あり。</p> <p>目標値の根拠は？</p>
回答 ・ 考え方	<p>平成28年度以降については、見込みについての記載です。</p> <p>公有財産の有効活用面積(2,500㎡)の内訳 廃道路・廃水路・青地 1,500㎡ 管財課の普通財産 1,000㎡</p>

新・行財政改革実行プランについての事前質問及び回答

課題名	藤沢市土地開発公社のあり方（51ページ）
項目	成果目標
質問 ・ 意見	透明性とは？成果目標“透明性が確保されていること”は目標とはいえない。
回答 ・ 考え方	“透明性の確保”とは、公共事業用地の先行取得にかかる、市議会への情報提供がルールどおりに行われることです。不透明な用地取得事例から平成24年度に作成しました。

新・行財政改革実行プランについての事前質問及び回答

課題名	市民が利用しやすい新庁舎建設（57ページ）
項目	指標
質問 ・ 意見	成果実績のみ示し、かつ35→13→1 ここにこの項目がある意味が不明。削除すべきでしょう。
回答 ・ 考え方	新庁舎建設にかかる予定表に沿って、庁内検討を進めるなかで、パブリックコメントやワークショップ等で市民からの意見聴取を行い、反映できた件数を指標としております。

新・行財政改革実行プランについての事前質問及び回答

課題名	地域コミュニティ拠点施設(市民の家・自治会館)のあり方の検討 (61ページ)
項目	指標
質問 ・ 意見	<p>目標値は年々上がっているのに、実績は21.3→22.4→23 とほぼ横ばい。対策は？</p> <p>実績H28 H29 に見込記載は不要。目標値があればいいのであって、その目標を達成するために、何をするのか？対策が必要。</p>
回答 ・ 考え方	<p>・市民の家の利用に係る、利用団体別・時間帯別・部屋別のニーズの把握に努め、指定管理者と協力・連携して、地域住民にとって利用しやすく、稼働率が上がるよう、利用ルールの見直しなどの対策を行ったり、市民の家の有効活用促進策として、他の公共的機能(地域の縁側)としての活用や利用回数制限の緩和、和室の洋室化、児童クラブとしての活用などの検討に着手したりしてまいりましたが、目標数値の達成には至りませんでした。</p> <p>・今後は、前述の他の公共的機能(地域の縁側)としての活用や、和室の洋室化、児童クラブとしての活用などの検討を推進し、公共施設再整備プランに基づく「地域コミュニティ拠点施設のあり方方針」を策定した段階で、市民の家・自治会館が公共施設としての機能を発揮し、地域コミュニティの活性化に貢献しているかといった指標が設定できるよう、課題を見直す必要があるものと考えております。</p>

新・行財政改革実行プランについての事前質問及び回答

課題名	市民及び来庁者の利便性向上に向けた市民窓口センターの業務改善（65ページ）				
項目	—				
質問 ・ 意見	費用対効果の検証は行われていますでしょうか？削減額の実績は？見通しは？				
回答 ・ 考え方	<p>平成28年1月から住基カードは個人番号カードに移り変わるとともに、社会保障と税等の広範囲での利活用が想定されることから、個人番号カード取得の急速な増加も見込まれ証明書の交付増も想定されます。</p> <p>コンビニでの証明書通数が増加することで窓口での証明発行事務が軽減され、それに伴う物的・人的な費用対効果に繋がることも考えられますが、現状の住基カードの交付枚数では市民生活の利便性の向上には寄与しているものの物的・人的な面での費用対効果には至っておりません。</p> <p>コンビニ証明発行手数料 123円／1通 負担金500万円 窓口・交付機・コンビニ</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>住民票 21.1万通</td> <td>うちコンビニ 4,298通 (2.03%)</td> </tr> <tr> <td>印鑑証明 15万通</td> <td>うちコンビニ 3,687通 (2.45%)</td> </tr> </table>	住民票 21.1万通	うちコンビニ 4,298通 (2.03%)	印鑑証明 15万通	うちコンビニ 3,687通 (2.45%)
住民票 21.1万通	うちコンビニ 4,298通 (2.03%)				
印鑑証明 15万通	うちコンビニ 3,687通 (2.45%)				

新・行財政改革実行プランについての事前質問及び回答

課題名	情報公開の積極的な推進（69ページ）
項目	指標
質問 ・ 意見	<p>実績部分。7/111、5/72 の意味が不明。どう評価するのでしょうか？</p> <p>分母が増えることが望ましい？ 何件に変更してはいかがでしょうか？</p> <p>不服申し立てが増えてほしい？それとも減ってほしい？</p>
回答 ・ 考え方	<p>目安であって目標ではありません。この指標は、諾否判断及び決定理由の付記の精度が向上することにより、不服申し立て件数の減少につながる可能性があるという考え方にに基づき、平成26年度に設定変更したものです。</p> <p>分母＝情報公開請求件数のうち実施機関が「全部非公開，一部非公開，不存在」と決定した件数 分子＝「全部非公開，一部非公開，不存在」と決定されたものうち、請求者が「不服」を申し立てた件数</p> <p>望ましい状態とは、市民の知る権利が保障されている状態であり、これらの数字の変化を捉えて、良くなった、悪くなった、というものではありません。</p>

新・行財政改革実行プランについての事前質問及び回答

課題名	文化資産等を活用した「郷土愛あふれるふじさわ」の実現（73ページ）
項目	指標
質問 ・ 意見	<p>H26 宿場まつりの数字を内数として分けないと、トレンド比較が困難。</p> <p>H28年度は何月開館予定？記載なし、それによって実績が12ヶ月貢献するのか？12より少ないのか？開館予定時期は目標値に反映されていますね？</p>
回答 ・ 考え方	<p>H26実績は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海道シンポジウム藤沢宿大会・関連行事参加者数 20,419人（内訳） <ul style="list-style-type: none"> -東海道シンポジウム藤沢宿大会参加者 500人 -藤沢宿場まつり来場者 19,500人 -プレイベント「宿場でシネマ」他参加者 419人 <p>なお、藤沢宿場まつりは、旧東海道の宿場町で毎年順番に開催される「東海道シンポジウム藤沢宿大会」に合わせて実施したもので、平成26年度の単年度事業となります。</p> <p>事業の内容としましては、遊行寺境内において、藤沢宿を紹介するパネル展を行うとともに、地域の方たちによるわらじづくりや昔のあそび、かごかき体験などが行われました。また、特設ステージにおける講談やダンスパフォーマンス、ウクレレ演奏や地元の店舗や青年会議所による食のブースの出店もありました。</p> <p>(仮称)藤澤浮世絵館の開館予定(28年度)は7月で、目標値に反映しています。</p>

新・行財政改革実行プランについての事前質問及び回答

<p>課 題 名</p>	<p>介護保険料の収納率向上（77ページ）</p>
<p>項 目</p>	<p>指標</p>
<p>質 問 ・ 意 見</p>	<p>H27 8月までで24.86% 月別展開がされていますでしょうか？$5/12=41.7\%$です。</p>
<p>回 答 ・ 考 え 方</p>	<p>普通徴収分の介護保険料については、毎年6月から3月までの10回に分けてお支払いしていただくことになっております。 従いまして、この調査票に記載してある実績につきましては、6月から8月の3箇月分の実績となっております。</p>

新・行財政改革実行プランについての事前質問及び回答

<p>課題名</p>	<p>介護保険料の収納率向上（77ページ）</p>
<p>項目</p>	<p>平成27年度 成果実績・年度末見込み</p>
<p>質問 ・ 意見</p>	<p>①7月には通常の催告に併せて4・6・8月に特別徴収に切り替わる者168人に対し文書催告を実施、77人を完納させることができた。とあるが、滞納者の滞納事由の内訳を知りたい（支払能力、支払意志、支払失念）</p> <p>②滞納した場合、介護サービス利用を制限されますか？（医療保険と同様ですか？）</p>
<p>回答 ・ 考え方</p>	<p>①滞納者個々の滞納事由は把握していないが、滞納者の6割以上が市県民税非課税階層であることから、低所得に伴う生活困窮が主要因と考えられます。</p> <p>②制限されます。1年以上滞納した場合は保険給付の償還払い（一旦全額を支払い、後で保険請求する）、1年6か月以上滞納した場合は保険給付の支払いの一時差止、2年以上滞納した場合は、利用者負担が1割、または2割から3割に引き上げられる保険給付の制限があります。なお、納付および、還付請求の時効は2年間です。</p>

新・行財政改革実行プランについての事前質問及び回答

課題名	福祉窓口業務及び相談機能の充実（81ページ）
項目	指標
質問 ・ 意見	目標値が100%ということは“満足ではないがゼロ”ということ、ならば目標値は満足ではないを“ゼロ”とし、満足ではないが発生した場合の理由の明記にすべき
回答 ・ 考え方	「満足ではない」というアンケート結果が生じた場合には、その理由を分析したうえで、改善策を検討し、窓口サービスの向上につなげていきます。

新・行財政改革実行プランについての事前質問及び回答

課題名	地域包括ケアシステムの構築（85ページ）
項目	指標
質問 ・ 意見	<p>認定率に意味があるのでしょうか？件数にて目標も実績も計上すべきなのではないのでしょうか？</p>
回答 ・ 考え方	<p>高齢化社会の進展に伴い、介護保険サービスを利用するための、要介護認定を受ける方の増加が見込まれていますが、地域包括ケアシステムの一つの柱である、新しい介護予防・日常生活支援総合事業を行い、地域の支え合い体制をつくり、介護予防活動をすることにより、要介護認定率を平成26年度の水準にとどまるようにします。</p> <p>なお、高齢者人口は今後も増加し、件数(人)も増加する見込みであるため、認定率(高齢者人口に対する認定者数)を指標としたものです。</p>

新・行財政改革実行プランについての事前質問及び回答

課題名	民間主導によるイベント誘致からなる新たな観光誘客（93ページ）
項目	指標
質問 ・ 意見	<p>件数より効果を重視し、目標値を実績の2→5に上げ、しかし、実績は変わらず2件をどのように評価しているのでしょうか？H28の対策は？このままで実績2では意味がありません。</p>
回答 ・ 考え方	<p>民間主導によるイベント誘致が成果指標となっているため、行政側で明確な見込みを立てるのは困難ではあります。現時点で、目標を実績が下回る乖離がみられますが、これまでの取り組みにより、観光客が増加したことや、2020年東京オリンピックにおいてセーリング競技の会場となったことにより、徐々に本市の知名度が向上していることなどから、新たな観光誘客は進んでいると考えております。</p> <p>今後については、平成27年6月にオリンピックの競技会場に決定したという、劇的な環境変化が与える影響を取り込みながら、県内屈指の観光地「藤沢」として、目標を高く設定していきたいと考えております。</p>

新・行財政改革実行プランについての事前質問及び回答

課題名	藤沢市立学校教職員の不祥事の防止（97ページ）
項目	指標
質問 ・ 意見	発生事項の内容分析が必要。傾向と対策まで記載願います。
回答 ・ 考え方	<p>平成26年度は、勤務時間外の飲酒に関わる案件が多発したため、飲酒も含め、勤務時間外における教職員の綱紀保持に努めること。交通事故の件数が増加したため、交通事故防止の取り組みにも努めること。</p> <p>平成27年度9月末までの県教委へ提出した事故報告書の件数は6件で、すべて軽微な交通事故によるものでした。</p> <p>対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月の校長会・教頭会にて服務規程を再度配布説明し、教職員への周知を依頼しました。 ・6月30日に、初めて任用される臨時的任用職員を対象に事故防止研修会を実施しました。 ・学校運営研修会は今年度から人材育成のために、新任総括教諭を対象に学校運営や教育課程についての研修を行いました。 ・8月19日に本務者220名を対象に不祥事防止研修会を実施した。学校事故とは切り離し、教職員の不祥事防止に特化した研修を実施しました。 ・新任校長、教頭研修において服務に関する研修を行いました。 ・12月25日に前回校務等により欠席した者並びに前回以降に初めて任用された臨時的任用職員を対象に事故防止研修会を実施予定。 ・今後も校長会、教頭会等を通じて不祥事防止に向けての啓発、指導を行っていき今後の不祥事0件を目指します。

新・行財政改革実行プランについての事前質問及び回答

課題名	いじめや不登校等、様々な悩みを抱える児童生徒への相談体制の充実（101ページ）
項目	指標
質問 ・ 意見	1.12→1.13 増の理由。率でなく、人数、分析、あわせて対策の記載をお願いします
回答 ・ 考え方	<p>平成27年1月末381人、平成27年3月末には441人である。不登校という状態に表れてくる経緯やその背景は様々です。学業不振があったり、コミュニケーションが不得手だったり、からかいやいじめがあったり、家庭的な課題があったりなど、これらが単一あるいは複雑に絡み合っていると考えられます。平成26年度の増加の原因としては、不登校となったきっかけとして、小学校では不安などの情緒的混乱、親子関係をめぐる問題・家庭不和、中学校では無気力が増えています。精神的なストレスが生じた際、それを乗り越えることができず、不安感を強めたり、やる気をなくしてしまったりといったケースが増えたと捉えています。</p> <p>対策としてはまず、未然防止の観点から、全ての児童生徒が自己肯定感を持ち、学校や学級に居場所を持てるような「魅力ある学校づくり」に取り組んでいます。また、早期発見、早期対応を心がけ、担任・学年教諭・養護教諭などの教職員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどが、様々な角度から児童生徒一人ひとりに合わせた支援を行っています。</p> <p>具体的には次の取り組みを行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月にスクールカウンセラーを1.5日以上配置した小学校13校において、早い段階で集中して丁寧な対応が可能になりました。 ・4月にスクールソーシャルワーカー2名による南北2地域の担当制にしたことで、機動性が高まり、ケースへの早期対応・丁寧な対応ができるようになりました。 ・藤沢市子どもをいじめから守る条例の啓発リーフレットを作成し、9月までに学校及び関係機関に配付しました。また、6月に条例制定記念講演会を実施し、市民等への周知を図りました。条例の施行に伴い、

新・行財政改革実行プランについての事前質問及び回答

課題名	将来にわたる健全経営の推進（105ページ）
項目	指標
質問 ・ 意見	<p>目標100%以上とは？ 104.2→101.5→100と低下傾向、いいのでしょうか？目標は「以上」はあいまいなので、105ならば105とすべきなのではないのでしょうか？</p>
回答 ・ 考え方	<p>地方公営企業会計でいう経常収支比率は、特別利益・特別損失を除いた経常的な収支バランスから資金の流れをみる指標（自立した運営ができていないか）で、この比率が高いほど経営の安全性が高いとされています。</p> <p>比率が低下傾向にある要因としては、近隣に同規模同機能病院が進出したことや再整備事業に伴う診療制限によって患者数が減少したことが考えられます。しかしながら、手をこまねいているだけではなく、地域の医療機関との連携強化やジェネリック医薬品への切り換え等による収益確保や費用縮減、そして選ばれる病院となるよう資産となる医療器械への投資など、様々な取り組みを行っています。</p> <p>100%以上となった黒字部分は、内部留保資金として蓄え、将来的な医療器械の整備や療養環境の改善に充てることとしており、今年度も西館の改修工事や再整備事業1期工事の完成に伴う医療器械や什器の購入財源に充て、今後の患者数の増加と収益の確保を企図するものです。</p>